



データベースのバックアップをスケジュール設定する

SnapManager for SAP

NetApp
April 19, 2024

目次

| | |
|--------------------------|---|
| データベースのバックアップをスケジュール設定する | 1 |
| バックアップスケジュールを作成 | 1 |
| バックアップスケジュールを更新 | 4 |
| スケジュールされた処理のリストを表示します | 5 |
| バックアップスケジュールを一時停止 | 5 |
| バックアップスケジュールを再開 | 5 |
| バックアップスケジュールを削除 | 6 |

データベースのバックアップをスケジュール設定する

SnapManager (3.2以降) for SAPでは、高いパフォーマンスを維持するために、オフピークの時間帯にデータベースのバックアップを定期的に行うようにスケジュール設定できます。バックアップのスケジュールを設定するには、データベース情報と保持ポリシーを含むプロファイルを作成し、バックアップのスケジュールを設定します。



バックアップは管理者としてスケジュールする必要があります。バックアップを既存ユーザ以外のユーザとしてスケジュールしようとすると、SnapManager に「Invalid user : username : cannot create schedule backup for a given user」というエラーメッセージが表示されます

スケジュール関連のタスクの一部を示します。

- データベースバックアップのスケジュールを、毎時、毎日、毎週、毎月、または 1 回ごとに設定します。
- プロファイルに関連付けられているスケジュールされたバックアップのリストを表示します。
- スケジュールされたバックアップを更新する。
- スケジュールを一時的に中断します。
- 中断したスケジュールを再開します。
- スケジュールを削除します



[今すぐメニュー操作を実行する *] チェックボックスは、スケジュールされたバックアップがそのスケジュールに対して実行されている場合は無効になります。

バックアップスケジュールを作成

バックアップは、データと環境に適した時間と頻度で行うようにスケジュール設定できます。

このタスクについて

SnapManager 3.2 for SAPでは、アーカイブ・ログ・ファイルのバックアップを個別にスケジュール設定できます。ただし、作成したプロファイルを使用して、アーカイブ・ログ・ファイルを分離する必要があります。

データファイルとアーカイブログファイルのバックアップを同時にスケジュールした場合、SnapManager は最初にデータファイルのバックアップを作成します。

スケジュール間隔を「-onetimeonly」に選択すると、すべてのプルーニングオプションが使用可能になります。「-onetimeonly」以外のスケジュール間隔を選択した場合、pruningオプション「-until -sSCN」および「-until date」はサポートされておらず、「指定したアーカイブログプルーニングオプション、-until SCNまたは -until date」がスケジュール間隔時間単位で無効です。スケジュール間隔に-onetimeonlyオプションを指定するか、または {-months |-days |-week|-hours} `のいずれかのオプションを使用してアーカイブログをプルーニングします。

Microsoft Windows Serverフェイルオーバークラスター (WSFC) 環境およびMicrosoftクラスタサーバ (MSCS

）環境でフェイルオーバーが発生すると、サービス（仮想）アドレスがアクティブなホストにマッピングされ、SnapManager スケジュールがアクティブなSnapManager ホストに調整されるように、SnapManager for SAPサーバを再起動する必要があります。



同じプロファイル名およびスケジュール名が別のリポジトリに存在する場合、そのリポジトリでバックアップのスケジュール設定処理は開始されません。オペレーションは終了し、オペレーションはすでに実行中ですというメッセージが表示されます


ステップ

1. 次のコマンドを入力します。

```
`* SMSAP schedule create -profile profile_profile_name_{[-full {-online |-offline-offline|-auto} [-retain [-hourly |-weekly |-unlimited ][-verify]]][-data [-files_{[_files]][-retaes]-retain-log]-only-飲み 放題\\|\\un|について
の-archiverse|-archiversテーブル スペース[毎日]-retain-comment [コメント[--unlimited |マンスリーテーブ
ルスペース|-retain-dest-backup [_path2]][-exclude-dest_path1_{,path2}]][-prunelogs {all |-
untilscn_untilscn |-until -date_yyyy-mm-dd HH:mm:ss]-before {-months |-weekdays |-days |-
prunetest_prune task_untest_run_spec}-weekly-run/es_time|-run_prune毎月実行スケジュー
ル{/yyyy_s}/ase_schedule_run_run_untscle-ase_date_date_schedule}毎月実行スケジュー
ル{/yyyy_date_schedule_untn |-dest_実行スケジュール{/yyyy_date_schedule}-dest_実行スケジュー
ル{/yyyy_s}-dest_実行スケジュール{/yyyy_date_date_date_date_date_date_schedule}〜毎月実行スケジュー
ル{/yyyy_s}-dest_実行スケジュール{/yyyy_date_date_date_date_date_date_date_date_schedule}〜-dest |-
verbose ]`*
```

| 状況 | 作業 |
|--|--|
| ・ オンラインまたはオフラインのデータベースのバックアップをスケジュール * します | オフライン・データベースまたはオンライン・データベースのバックアップをスケジュールするには'-offline-'または—onlineを指定しますこれらを指定した場合は'-auto'は使用できません |
| ・ SnapManager では 'データベースがオンラインであるかオフラインであるかに関係なく 'データベースのスケジュール設定を処理できます * | 「-auto」を指定します。--auto'を指定すると'--offline'または—online'は使用できません |
| ・ データファイルのバックアップをスケジュールする * | 「-data`-files」 と指定すると、カンマで区切られたファイルが一覧表示されます。たとえば、F1、F2、 F3 などのファイル名を使用します。 |
| ・ 特定の表領域のパーシャル・バックアップをスケジュール * | カンマで区切られた表領域をリスト表示するには'-tablespacesを指定しますたとえば、TS1、TS2、TS3 を使用します。 |

| 状況 | 作業 |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> アーカイブ・ログ・ファイルのバックアップをスケジュール * | <p>次の情報を指定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> アーカイブ・ログ・ファイルのバックアップをスケジュールするための-archivelogs -backup-dest：バックアップに含めるアーカイブ・ログ・ファイルの保存先をスケジュールします --exclude-dest-バックアップから除外するアーカイブ・ログ・デスティネーションをスケジュールします |
| <ul style="list-style-type: none"> 保持クラスの値を指定します * | <p>-retainを指定し'次のいずれかの保存クラスに従ってバックアップを保持するかどうかを指定します</p> <ul style="list-style-type: none"> `-時間単位` 「-daily`」 「-weekly」 と入力します 「-monthly」を指定できます SnapManager のデフォルトはhourlyです |
| <ul style="list-style-type: none"> アーカイブ・ログ・ファイルの削除をスケジュール * | <p>バックアップのスケジュール設定中にアーカイブ・ログ・ファイルをプルーニングするには'</p> <p>-prunelogs：アーカイブ・ログ・ファイルのプルーニングに使用するアーカイブ・ログ・デスティネーションを指定するには"prune-dest"を指定します</p> |
| <ul style="list-style-type: none"> スケジュール名を入力 * | <p>「-schedule - name」を指定します。</p> |
| <ul style="list-style-type: none"> 特定の時間間隔でのデータベースのバックアップをスケジュール * します | <p>'interval'オプションを指定して'バックアップを作成する時間間隔を次の中から選択します</p> <ul style="list-style-type: none"> `-時間単位` 「-daily`」 「-weekly」 と入力します 「-monthly」を指定できます 「-onetimeonly」 と入力します |

| 状況 | 作業 |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> スケジュールを設定 * | <p>「-cronstring」を指定し、個々のオプションを説明する次の7つのサブ式を含めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 1 は秒を表します。 2 は分を表します。 3 は時間を表します。 4 は 1 か月の 1 日を表します。 5 は月を表します。 6 は 1 週間のうちの 1 日を表します。 (任意) 7 は年を表します。 <div>  <p>「-cronstring」と「-start-time」で異なる時刻でバックアップをスケジュールした場合、バックアップのスケジュールは上書きされ、「-start-time」によってトリガされます。</p> </div> |
| <ul style="list-style-type: none"> バックアップ・スケジュールに関するコメントを追加 * | <p>「-schedule -comment」に続けて概要 文字列を指定します。</p> |
| <ul style="list-style-type: none"> スケジュール操作の開始時刻 * を指定します | <p>yyyy-mm-dd hh:mm形式で「-start-time」を指定します。</p> |
| <ul style="list-style-type: none"> バックアップのスケジュール設定時に、スケジュールされたバックアップ操作のユーザーを変更します。 * | <p>「-runAsUser」と指定します。この処理は、スケジュールを作成したユーザ（root ユーザまたは Oracle ユーザ）として実行されます。ただし、データベースプロファイルとホストの両方に有効なクレデンシャルがある場合は、独自のユーザ ID を使用できます。</p> |
| <ul style="list-style-type: none"> プリタスクおよびポストタスク仕様 XML ファイル * を使用して、バックアップスケジュール操作のタスク前またはタスク後のアクティビティを有効にします | <p>バックアップ・スケジュールの操作前または後にプリプロセスまたは後処理を実行するために'taskspec'オプションを指定し'タスク仕様XMLファイルの絶対パスを指定します</p> |

バックアップスケジュールを更新

スケジュールされた処理のリストを表示し、必要に応じて更新できます。スケジュールリング頻度、スケジュールの開始時刻、cronstring 式、バックアップをスケジュールしたユーザを更新できます。

ステップ

1. バックアップのスケジュールを更新するには、次のコマンドを入力します。

```
「* SMSAP schedule update -profile profile_profile_name」 -schedule - name_scheduleName [-schedule-  
comment_schedule comment]- interval {-hourly|-daily|-weekly|-monthly_schedule|onetimeonly} -start  
-time_starttime_cronstring_cronstring_verbose*-run`Asquiet」 -ユーザー名
```

スケジュールされた処理のリストを表示します

プロファイルに対してスケジュールされている処理のリストを表示できます。

ステップ

1. スケジュールされた処理に関する情報を表示するには、次のコマンドを入力します。

```
* SMSAP schedule list -profile_name_[-quiet |-verbose *
```

バックアップスケジュールを一時停止

SnapManager を使用すると、バックアップスケジュールを再開するまで一時停止できます。

このタスクについて

アクティブスケジュールを一時停止できます。すでに一時停止しているバックアップ・スケジュールを中断しようとするとき、'Cannot suspend: schedule <schedulename> already in suspend state' というエラー・メッセージが表示される場合があります。

ステップ

1. バックアップスケジュールを一時的に中断するには、次のコマンドを入力します。

```
* SMSAP schedule suspend-profile_name_-scheduled-name_scheduleName _[-quiet  
|-verbose *
```

バックアップスケジュールを再開

管理者は、中断したバックアップ・スケジュールを再開できます。

このタスクについて

アクティブなスケジュールを再開しようとするとき、「Cannot resume : schedule <schedulename> already in resume state」というエラーメッセージが表示されることがあります。

ステップ

1. 中断されていたバックアップスケジュールを再開するには、次のコマンドを入力します。

```
* SMSAP schedule resume -profile profile_name_-scheduled-name_scheduleName _[-  
quiet |-verbose *
```

バックアップスケジュールを削除

不要になったバックアップスケジュールを削除できます。

ステップ

1. バックアップスケジュールを削除するには、次のコマンドを入力します。

```
*SMSAP schedule delete -profile profile_name__-scheduled-name_scheduleName _[-  
quiet | -verbose *
```


著作権に関する情報

Copyright © 2024 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S. このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータ ソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。